



6



8



7



2



1



4



3



5

Boys, be ambitious

出会いや経験から人生を紡ぐ



川内中学校 少年式実行委員

山下 逢希さん (14)

やました・あいき (町西)

僕はこれからいろいろな人と出会い、たくさんの経験を積み重ねていきます。その中で人のまねをするのではなく、自分で自分の人生を紡いでいきます。

実行委員は計画期間から少年式に携わります。練習で辛いこともあったけれど、みんなでこの日を迎えて、全てを出し切れたのでよかったです。合唱では指揮をしました。全員が同じ気持ちで歌えるようにすることが難しかったです、いい経験になりました。

1_少年式実行委員の皆さん／2_2年生全員の合唱と決意発表が体育館に響く／3_前を見据え真っ直ぐに入場する／4_1・3年生代表の竹内啓太さんが2年生を激励した／5_自画像の横に並ぶのは決意の一文字／6_ステージで1人ずつ決意を発表／7_決意発表で少年式実行委員の活動が光った／8_午後は砥部焼の絵付け体験。14歳の思い出を形に表した

「行動することの大切さ」を挙げ、「今自分に何ができるのかを考え、自分に自信を持ち、小さなことから行動してみてください」と話した。また、「行動に移したことを継続する大切さ」を挙げ、「自分の目標に向かって諦めず行動したということは将来必ず自分の大きな財産になります」と話した。2年生の決意発表と「大地讃頌」の合唱は会場にいる人の心に響いた。終了後は、1人ひとりが決意発表で堂々と思いを披露した。今を生きる14歳は明るい未来に向かって、大人への一歩を踏み出した。

PICK UP

少年式「表現」

市内中学校で「少年式」が行われ、14歳となる中学校2年生の皆さんが、大人への一歩を踏み出しました。「少年式」は、14歳を大人への階段を登り始めた大切な時期と考え、愛媛県が全国に先駆け始めた行事です。今月は、川内中学校で行われた少年式を取材しました。

決意を胸に未来へ羽ばたく

式典が始まると、保護者らが見守る体育館に、凛とした佇まいで入場する2年生。日野省吾校長は、皆さんは少年式のスローガンを「表現」と決めた。表現は「自分を見つめ直し、集団を見つめ直し、よりよい自分・学年集団に近づける」意味を持っている。「目に見える形で心遣いや思いやりを行動で表し、心や思いが伝わる言葉で表現してください」と伝え、「頑張りを続ければ過去は自信に満ち溢れ、未来に希望が感じられ、さらに今を頑張ろうとしていくはず。だから今頑張ることが最善」とエールを送った。3年生の竹内啓太さんは